産業人クラブだより ―かけはし―

産業人烈伝

〝人とのつながり〟で進化

スズキハイテック・鈴木喜代寿社長 ㊤

「時代の変化をいち早く察知し、新しい時代の方向を見極る判断力を持たなければならない」。スズキハイテックの鈴木喜代寿社長は経営者として先をとらえる力を重要視する。これまで経営の判断を確かにする人的なネットワークの構築により、さまざまな難題を乗り越えてきた。これからも「感謝の心を忘れないで前に進む」とし、次代を見つめている。

1914年（大3）創業の同社は、今年で創業から98年目を迎えた。基盤技術の一つであるメッキ加工を手がける。現在は自動車関連部品と電子半導体部品へのメッキ加工が柱だ。山形市内にある本社工場は、蔵王山系の水脈が流れ、地下水に恵まれた環境にある。メッキ業にとって水は必要不可欠なもの。地の利は今もある。3代目の社長として、これまで30年以上にわたり経営のかじをにぎってきた。人と人とのつながりの中で、時代の変化に対応し、好機をつかみ、企業として進化を遂げてきた。

「時代の変化は好機」。最初の分岐点としてとらえているのが75年。米国で制定された車の排ガス規制「マスキー法」に対応するため、当時ホンダが「CVCC」エンジンを開発した。こうした低公害化への取り組みが進む中で、取引先から「仕事の声をかけていただいた」ことで、環境分野に対応する視点を養い、今も自動車関連の仕事を手がける。78年には銀が急騰し、半導体のリードフレームを銀メッキからハンダメッキ、スズ鉛合金に切り替えたいとの取引先の要請にも対応した。

最近では、欧州連合（EU）が打ち出した特定有害物質規制「RoHS指令」により、リードフレームのスズ鉛、とくに鉛が規制対象になった。そこで国内ではいち早くビスマスを新たに使うことで、規制の課題をクリアした。人との縁が仕事の幅を広げてきた。

時代が変化を迎える時の好機をいかにつかむか。確かな技術を基盤に、人と人とのつながりで築いた人的なネットワークこそが変化への対応を支えてきた。

現在、歴史的な円高などを踏まえ国内メーカーの海外展開が加速。地域中小企業を取り巻く経営環境は一段と厳しくなっており、確かな決断が求められてもいる。

（2回連載）

（山形市銅町2の2の30）

山形市内にある本社工場

トップインタビュー

独自商品で勝機つかむ

部品加工技術を生かす

岩田鉄工所社長（岐阜産業人クラブ）　岩田　勝美 氏

岩田鉄工所（岐阜県羽島市、岩田勝美社長、058・392・4525）は大手産業機械メーカーの協力工場。チタンやマグネシウムなどの難削材を含む難易度の高い部品の機械加工を得意としている。一方で独自のアイデア商品も世に送り出してきた。階段の登り降りに合わせ電動で伸縮できるつえ「伸助さん」はテレビや一般紙でも紹介され、安定した売れ行きをみせる。自社商品を夢見る協力工場は多いが、成功例は少ない。留意点を岩田社長に尋ねた。

（岐阜支局長・村国哲也）

◇

―独自商品に力を入れる理由は。

「当社の顧客は大手産業機械メーカー1社で売上高の7割を占める。量産の方がもうかるし、本業だけの品に挑戦すべきだ」

―独自商品の開発はいつからですか。

「BツーBのみへの不安は昔からあった。電動工具方が楽。でも大手製造業が海外に移る流れは変えられない。BツーBは顧客の調子が悪いと、いくら頑張ってもこちらも苦しい。でも独自商品は自分でチャンスを作れる。余力がないと開発はできない。協力工場は本業が忙しい時こそ自社商品に取り付けて使う除草アタッチメント『抜けるンです』の発売は20年前。今でも売れている。制御盤用除湿シート『あうん』は15年前。リーマン・ショック後に仕事が激減し、伸助さんを開発した。月300本前後と販売も安定している」

―独自商品で成功するポイントは。

「自社のコア技術を見失わないこと。困っていること、悩んでいることを周囲に情報発信するのも大事。自社でできないこと、知らないことをその道のプロが助けてくれる。伸助さんも、ホームページを見た東京大学の先生からの『障害者用の立ち上がり補助具を開発してほしい』という依頼がきっかけ。電動で伸縮する補助具は失敗したが、『つえにしてはどうか』と助言を受けた」

―電動伸縮つえは、携帯用も商品化。基本技術を生かして電動で伸縮するマイクスタンドも発売しました。今後は。

「伸助さんは価格が2万5000円で、購入の9割がプレゼント目的。自分で使ってもらうため1万円を切る廉価版を開発中だ。材料以外は内製して利益率も上げる。伸助さんは一時の話題にはなったが、普及にはこれからが正念場。つえの専門店に卸すなど販売面にも力を入れる」

いわた・かつみ　71年（昭46）岐阜県立岐阜工業高卒、同年東和製作所入社。73年岩田鉄工所入社、79年専務、96年社長。岐阜県出身、60歳。

小さくても本物

九州・山口西部技研

開発―量産 同一環境で

西部技研（福岡県古賀市、隈扶三郎社長、092・942・3511）のグローブボックス「Desi―Cube」の売れ行きが好調だ。窒素やアルゴンなど不活性ガスを使用せず、超低露点環境をつくりだせる。食品・医薬品や電機メーカーの工場で、除湿設備に使用されている同社の技術を生かし、顧客ニーズを基に小型化した製品だ。

除湿は同社が1980年代に開発したデシカント除湿ローターで行う。ローターはシリカゲルやゼオライトを吸着材にしたシートを独自技術で蜂の巣状に巻き付けている。不活性ガスによる装置と違い、酸素を含むため生産時と同じ環境で実験ができる。

また同社の製品には研究室など施設内に容易に設置できる小型ドライルーム「D―SAVE」もある。このため研究から試作、量産までの各段階を同じ環境で一貫して整備できる。グローブボックスと連結しての使用や、同ボックス内で製作した試作品をドライルームに移動する際もスムーズだ。小型ドライルームと合わせた今年度の受注額は「前年度に比べて倍近く伸びている」（同社）という。

二酸化炭素の除去にも対応するため、充電・放電に影響が出る電池分野に向くという。今後はリチウムバッテリーなど先端分野での利用増を見込む。同社の除湿ローターのようにニーズをうまく取り込んでいく。

不活性ガス不要で超低露点環境をつくりだす「Desi―Cube」

トピックス

名古屋　東海合金工業

新工場で品質検査強化

東海合金工業（愛知県瀬戸市、松本優造社長、0561・84・2611）は、超硬合金工具とスプレーノズルの総合メーカー。希少金属（レアメタル）配合などの原料づくりから超硬合金の焼結、マイクロメートル（マイクロは100万分の1）精度の精密金型部品まで一貫した超硬工具製造ラインを完備している。

特に、真空焼結炉と通年空調の精密加工工場、そして恒温検査室、3次元測定機による品質保証が自慢だ。またスプレーノズルは製鉄、環境、食品、液晶パネル（FPD）など、さまざまな分野で活躍している。

6月には本社工場隣接地に新工場が稼働した。本社工場から一部の精密金型部品加工と、工業用スプレーノズルの試験業務を全面移管した。

新工場は2階建てで延べ床面積は約1540平方㍍。投資額は約2億5000万円。工場完成に合わせてプロファイル（倣い）研削盤、放電加工機、小型マシニングセンター（MC）、数値制御（NC）旋盤などの設備を移管した。

試験室は従来の約3倍の広さを確保し、製品の品質検査や研究開発体制を強化する。松本社長は「本社工場が手狭になっていたが、新工場の稼働で作業スペースが確保できた。作業環境の安全性を高めたい。将来の増産にも対応できる」と語る。

6月に本社工場隣接地に新工場が稼働し、試験業務を全面移管した

11―12月の予定

【11　月】

◇**2日（金）東北地区4産業人クラブ**「合同ゴルフコンペ」（宮城県川崎町、東蔵王ゴルフ倶楽部）

◇**2日（金）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会**「学生起業支援プログラム　第7回ビジネスプランコンテスト」（埼玉県宮代町、日本工業大学）

◇**6日（火）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会**「秋季ゴルフ大会」（埼玉県寄居町、森林公園ゴルフ倶楽部）

◇**7日（水）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会**「第28回定時総会」（埼玉県春日部市、料理工房つくし）

◇**8日（木）―9日（金）いわき、福島、宮城、山形、中国四国などの各産業人クラブ**「いわきモノづくりツアー」（福島県いわき市、日産自動車いわき工場、東北ネヂ製造など見学）

◇**8日（木）千葉産業人クラブ**「秋季ゴルフコンペ」（千葉市若葉区、袖ヶ浦カンツリー倶楽部新袖コース）

◇**13日（火）山形産業人クラブ**「平成24年度3回ゴルフコンペ」（山形県天童市、天童カントリークラブ）

◇**13日（火）新潟産業人クラブ**「11月の社長会・GEの戦略と2012年トピックス」講師：日本GE・国津義治専務執行役員（新潟市中央区、新潟グランドホテル）

◇**14日（水）茨城産業人クラブ経済討論会**「工場長サミット―変わる茨城のモノづくり」パネリスト：日立ハイテクノロジーズ執行役常務那珂地区生産本部長・杉山秀司氏ほか（水戸市、水戸京成ホテル）

◇**14日（水）栃木産業人クラブ**「栃木県産学官情報交換会」（宇都宮市、ホテル東日本宇都宮）

◇**14日（水）埼玉産業人クラブ**「分科会」（さいたま市浦和区、日刊工業新聞社さいたま総局会議室）

◇**14日（水）―15日（木）大阪産業人クラブ**「佐賀県産業視察」（唐津鉄工所ほか見学）

◇**20日（火）東京産業人クラブ**「女性部会11月例会　講演会『世界構造転換と日本の進路』講師：日本総合研究所理事長・寺島実郎氏」（東京都千代田区、ホテルグランドパレス）

◇**23日（金）―24日（土）四国産業人クラブ**「工場見学会・ゴルフコンペ」（徳島県内の阿波スピンドル、西精工、Jクラシックゴルフクラブ）

◇**26日（月）日本産業人クラブ連合会・日刊工業新聞社共催**「産学官シンポジウム」（東京都千代田区、ホテルグランドパレス）

◇**27日（火）日本産業人クラブ連合会**「親睦ゴルフ大会」（横浜市旭区、戸塚カントリー倶楽部東コース）

◇**27日（火）千葉産業人クラブ**「産学官シンポジウム2012」（千葉市中央区、三井ガーデンホテル千葉）

◇**28日（水）―12月1日（土）埼玉産業人クラブ・埼玉ビジネス研究会**「マカオ・珠海視察」（平和産業珠海工場など）

◇**29日（木）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会**「学生向け就職面接会（アクティブプロモーション）」（埼玉県鳩山町、東京電機大学理工学部）

◇**29日（木）名古屋産業人クラブ、岐阜産業人クラブ**「NTN磐田製作所」見学と「いわた産業振興フェア」視察（静岡県磐田市）

◇**30日（金）大分産業人クラブ講演と意見交換会**「無添加を科学するシャボン玉石けんの経営戦略」講師：シャボン玉石けん専務・高橋道夫氏（大分市、大分アリストンホテル）

【12　月】

◇**3日（月）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会**「講演会（忘年会）」（埼玉県川越市、川越プリンスホテル）

◇**4日（火）九州・山口産業人クラブ**「九州経済の動向と今後の展望（仮題）」講師：九州経済産業局長・広実郁郎氏（福岡市博多区、博多エクセルホテル東急）

◇**5日（水）日本産業人クラブ連合会・東京・埼玉・千葉・群馬・栃木・茨城の各産業人クラブ**「首都圏産業人クラブ合同　岩手・地域間交流」（東京都台東区、伊豆梅川亭）

◇**7日（金）神奈川産業人クラブ**「第25回親睦ゴルフ大会」（神奈川県茅ケ崎市、湘南カントリークラブ）

◇**11日（火）栃木産業人クラブ**「日本機械学会栃木ブロックとの交流会」（宇都宮市、ホテル東日本宇都宮）

◇**12日（水）埼玉産業人クラブ**「分科会」（さいたま市浦和区、日刊工業新聞社さいたま総局会議室）

◇**12日（水）名古屋産業人クラブ**「第29回永井嘉吉記念賞選考委員会」（名古屋市中村区、名鉄グランドホテル）

◇**13日（木）名古屋産業人クラブ女性部会**「学習会＆年末懇談会」（名古屋市中区、名古屋東急ホテル）

◇**14日（金）新潟産業人クラブ**「12月の社長会＆忘年会」『健康法、即、経営法～日本伝承医術にみる気脈経営』『リスクマネジメントと運命学』『巳年の情勢』（新潟県五泉市、望川閣）

◇**15日（土）埼玉産業人クラブ・埼玉ビジネス研究会**「第10回ビジ研親睦ゴルフ大会」（埼玉県上尾市、大宮ゴルフコース）

◇**15日（土）埼玉産業人クラブ・埼玉ビジネス研究会**「〝望〟年会」（さいたま市大宮区、蕎麦茶屋　桜）

◇**19日（水）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会**「第32回研究室訪問シリーズ　細田彰一研究室から学ぼう」（埼玉県宮代町、日本工業大学）

台・韓・タイ経済 田中氏が講演

埼玉産業人クラブ

埼玉産業人クラブ（増田文治会長＝マスダック社長）は10月10日、さいたま市浦和区の日刊工業新聞社さいたま総局会議室で分科会を開いた。アジア連携委員会（東京都港区）の田中嘉一氏が台湾、韓国、タイの経済情勢や今後の見通しについて講演した（写真）。

同委員会は日本の中堅・中小製造業の海外展開を支援する民間団体。田中氏はまず台湾、韓国の人口や都市の特徴、交通インフラなどを紹介。両国での中小企業の位置づけや、経済政策、日本企業が両国とビジネスで連携するメリットなどを挙げた。田中氏は「まず現地に出向き、現状を肌で理解してみることも大切」と述べた。このほかタイ、マレーシアなど経済情勢を紹介した。

秋季ゴルフコンペ 小出氏が優勝

新潟産業人クラブ

新潟産業人クラブ（谷地田茂明会長＝ヤチダ社長）は10月5、6の両日、群馬県みなかみ町の水上高原ゴルフコースを訪れ、秋季ゴルフコンペを行った。

到着午後にハーフプレーで肩を慣らし、夜は宿泊する水上高原ホテル200で懇親会を開催。翌朝のゴルフコースは曇り空だったが、高原の涼しい風と白樺林の中、参加者10人が楽しみながらプレーした。

優勝したのはネット74・4（グロス96）でコイデエンジニアリング（新潟県三条市）の小出茂会長（写真中央）。小出会長は「前日のハーフは42を出せたし、初めて来たコースだがここは相性が良くて優勝できた」と周囲に元気さを振りまいていた。

2位には佐文工業所（新潟市江南区）の佐藤金治郎常務（写真後列左）、3位には奉仕社（同燕市）の野島直紀社長（写真後列右）が入賞。ベストグロスは双峰通信工業（新潟市東区）の樋口正仁社長でスコア89だった。

ゴルフ大会 藤田氏が優勝

大阪産業人クラブ・ゴルフ部会

大阪産業人クラブ・ゴルフ部会（田中修二部会長＝オージック会長）は10月10日、滋賀産業人クラブとの共催で、滋賀県栗東市の琵琶湖カントリー倶楽部で第74回ゴルフ大会を開いた。秋晴れのすばらしい天気に恵まれ、絶好のゴルフ日よりの中、参加した22人が日頃の練習の成果を競った。

ただ、プロのトーナメント会場でもあり、スコアメークにはてこずった様子。このコンディションで優勝したのは富士機械工作所の藤田正義相談役（写真右）で成績はグロス88、ネット71。スピーチでは「運良くロングパットも入ったが、話題が絶えないほどしゃべり、楽しいゴルフをさせていただいたのが勝因」とメンバーに恵まれた様子だった。

また大阪産業人クラブの女性会員はゴルフ上手が多く、懇親会で「レディスティからショットするのは、これからなくしましょう。ドラコンが取られへん」とぼやく男性陣が多いこと。女性からは「忙しい日常ですが頑張ってね、おとうさん」などの声も聞かれ、終始和やかな大会だった。

産総研オープンラボ見学会開催

茨城産業人クラブ

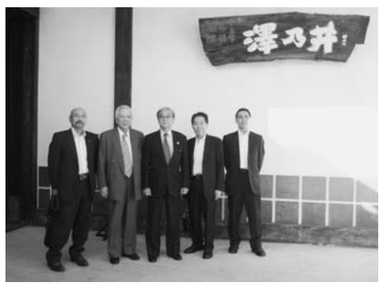
茨城産業人クラブ（高橋日出男会長＝協立製作所社長）は10月25日、茨城県中小企業振興公社と共催で、産業技術総合研究所（産総研）オープンラボ見学会と産総研産学官連携推進部との交流会を茨城県つくば市内で実施した。

産総研つくばセンターの会議室に集合した参加者は、まず、産総研関東産学官連携推進室長の橋本亮一氏による「産総研の活用法」と題した講演を聞いた（写真）。産総研オープンラボは、約420の研究テーマのパネル展示や100カ所の研究室公開などが行われる年に1度のイベント。橋本氏の講演後、参加者は、それぞれで事前予約した研究室見学や、個別技術の講演会・説明会に参加した。

参加者は再び夕方に、つくば市内のホテルグランド東雲に集合。産総研産学官連携推進部長の清水聖幸氏らを交え、25人が、中小企業の共同研究のあり方などについて、熱心に意見交換した。

東京・青梅市の小沢酒造を見学

城北産業人クラブ



城北産業人クラブ（檜垣昌子会長＝山陽プレス工業社長）は10月12日、小沢酒造（東京都青梅市）の見学会を行った（写真）。5人が参加した。

JR池袋駅前から貸し切りバスに乗り、東京西部の青梅方面へ向かった。一行はまず、日本画家の川合玉堂の作品を収蔵している「玉堂美術館」（青梅市）を訪ね、玉堂の絵画を鑑賞。参加者らは日本画家の玉堂の孫娘である小沢万里子館長から解説を受け、若いころから晩年までの絵画を興味深く鑑賞していた。玉堂は香淳皇后に絵の手ほどきをしたことがあったことから、皇后さまからの書簡なども展示されており、熱心に見入っていた。また館内の庭園では快晴の青空のもとで白い砂と緑が美しく、「心が落ち着く」との声があちこちから漏れた。外にも近隣にある「櫛かんざし美術館」（同）も訪れた。

清酒「沢乃井」をつくる小沢酒造では日本酒の製造現場を見学。参加者らは巨大な貯蔵タンクや酒瓶が並ぶ光景などを眺め、創業300年を越える老舗の重さを感じていた。

最後には試飲も行い、都会の喧噪から離れてのんびりした一日を過ごした。

中・台での販促ツール制作セミナー

大阪産業人クラブ・テクノロジー部会

大阪産業人クラブ・テクノロジー部会（美馬徹部会長＝関西金属工業社長）は10月16日、日本BtoB広告協会関西支部との共催で大阪市中央区の日刊工業新聞社大阪支社で「中国・台湾における販売促進ツール制作のポイント」をテーマにしたセミナーを開いた（写真）。

講師の溝口裕康氏（中外執行役員国際事業担当）は反日感情が高まる中国情勢が日系企業の産業活動への影響に触れ、「中国では中央政府、地方政府とも急な方針変更はよくあり、これに速やかに対処することも大事」と指摘。

「本社の指示を得る日系企業は、欧米企業に比べて下手。ただBツーB産業においては日本での報道のような混乱はしていないようだ」と述べた。

参加者は15人。講演終了後も質問が相次いでいた。

新入会員

埼玉産業人クラブ

▽**窪井　要氏**　久保井塗装工業所社長（埼玉県狭山市中新田1083の3、04・2958・5763、金属吹付塗装と各種塗装）

東京産業人クラブ

▽**島野　裕子氏**　ファイブシーズン社長（川崎市麻生区東百合丘4の45の18、050・5551・4265、PR、広報代行、ニュースリリース配信）

▽**橋本　章氏**　三啓社長（東京都江東区新砂1の6の35、03・5665・0511、光学機器販売）

神奈川産業人クラブ

▽**松田　洋紀氏**　松田技術士事務所代表（横浜市中区山下町1、シルクセンターM209、045・210・0337、建設コンサルタント）

大阪産業人クラブ

▽**辰巳　施智子氏**　辰巳工業社長（大阪府茨木市佐保48、072・649・2341、鋳造、機械設計・製作）